

# Green Carbon株式会社



- 所在地：東京都港区
- 従業員：6名
- 会社設立年：2019年
- 事業内容：カーボンクレジット創出/売買事業 ゲノム編集による植物の研究

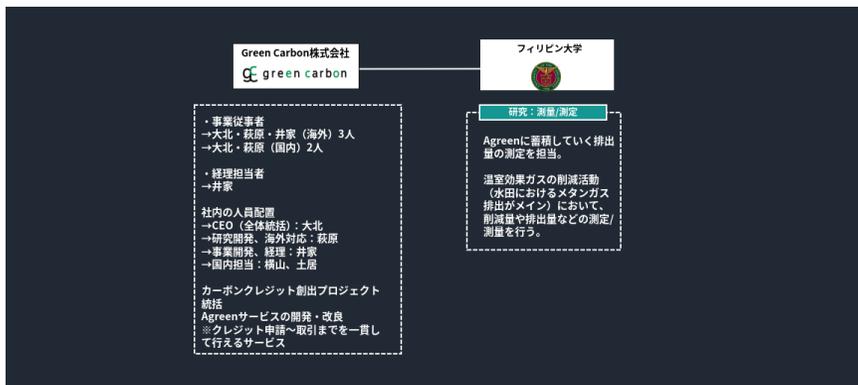
<http://green-carbon.co.jp/>

## プロジェクト名

- フィリピンにおける、水田でのメタンガス削減によるカーボンクレジット創出とカーボンクレジットプラットフォームを用いたDX化

## 現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：フィリピン大学
- 協力・連携の内容：実験圃場の提供/GHG計測



## 現地の経済・社会課題

- 1つ目の課題はフィリピン国内の削減目標である。フィリピン国内の排出量は現在、約6,000万t-CO2を排出しており、目標の75%削減には約4,500万t-CO2の削減が必要となる。自国努力だけでは達成が困難といえる。
- 2つ目の課題は、稲作農家の収入である。フィリピンの稲作農家は収入が低く、農業だけでは生活ができない現状がある。
- 3つ目の課題は、クレジット申請の複雑な手続きと販売に係る工数である。当社が開発予定の「Agreen」を活用することで、プロジェクト登録の申請や書類作成の手間を削減し、取引プラットフォームによる販売を一気通貫で支援する。

## 実証内容

- 今回のプロジェクトでは、稲作農家と連携し、弊社のプラットフォームを活用したカーボンクレジットの創出活動を実施する。クレジット売買益は農家の収益源になり、加えてフィリピンの排出量削減目標にも貢献する。

## 期待される裨益効果

- フィリピン国内の水田面積は481万haにのぼる（日本の倍以上）。フィリピン全土の水田でカーボンクレジット創出を実施した場合、創出ポテンシャルと経済効果は192.4億円にのぼる（4t-CO2/ha、1000円/t-CO2で計算）。
- 本プロジェクトを実施した際に期待される効果として、農家の副収入取得による所得の向上、フィリピン国内でのカーボンクレジット市場の隆盛が挙げられる。また、CO2削減効果として、1,924万t分のカーボンクレジットをフィリピンの企業が購入することができる。